

### 第3回入間市指定管理者候補選定委員会会議録

1 日 時 令和6年9月27日（金）10時00分～11時20分

2 場 所 入間市役所 B棟 5階 第2委員会室

3 出席者 委員長 濱川敦

委 員 浅見嘉之、平沼宏之、河村香代子、高梨雅樹、小林由利、押木正己

所管課 スポーツ推進課長 中林健、主幹 戸坂次郎、副主幹 青木里恵、

主任 鹿島隆史

事務局 デジタル行政推進課長 山本優、主査 佐々木雄基、主任 櫻木美智

4 欠席者 なし

5 対象施設 入間市地区体育施設等

6 議 事

議 題

(1) 申し込み団体によるプレゼンテーションについて

(2) 委員からの講評

(3) 所管課からの意見・感想

(1) 申し込み団体によるプレゼンテーションについて

プレゼンに先立ち事務局から、次の説明を行った。

応募者の資格要件のうち暴力団関係者の有無について、事務局において県警に照会したところ、応募のあった団体について、「該当は無い」との回答を得ている。

プレゼンについて、1団体あたり50分とする。時間配分は、プレゼン25分、質疑応答25分とする。仮にプレゼンが20分で終了した場合には、質疑応答を5分増やし、30分とする。質疑応答が早く終了した場合、50分に達していなくてもその時点で終了とする。

採点等については、5～1点の5段階で採点を行い、審査票は、10月4日（金）までにデジタル行政推進課へ提出願いたい。

アイル・コーポレーション株式会社

応募書類を基に提案内容の説明の後、以下の質疑応答があった。

委員：様式第6号の事業計画書内に記載のある自主事業収支計画においては、令和7年度に55万1千500円の収入、様式第8号の収支計画書においては、令和7年度に50万8千円の収入と記載があるが正しいのはどちらか。

応募者：様式第8号の収支計画書が正しい。

委員：事業計画書に記載のある「管理に関する経費の削減に向けた考え方」について、地区体育施設の指定管理では5施設を一括管理することにより可能となる経費の削減について具体的に教えていただきたい。また、現在入間市体育施設についても御社で指定管理を行っているが、市体育施設と経費削減に向けて連携を図る事は可能か。

応募者：施設の一括管理による経費縮減策については、備品や消耗品の共有について市体育施設の統括管理者が在庫管理を行っているため、両施設間における備品の融通による柔軟な対応により経費縮減を図る。自主事業については5枠を計画しているが、市体育施設において既に実施している事業もあるため、講師の派遣やノウハウを共有し実施することが可能であるとする。また、既に市体育施設で関わりのある団体の協力が必要な場合もスムーズに依頼することが可能と考える。

委員：3点お聞きしたい。1点目は、事業計画書の職員配置について統括管理者を1名配置となっているが、週休日等で不在となる日も当然あると思われる。その場合のバックアップ体制はどのようになっているのか。2点目は、事業計画書に市職員として見られている自覚を持って業務に臨む必要があるため研修等を行うと記載があるが、この研修はあくまでも御社の社員を対象とした研修であると思われる。しかし実際に市民に対応するのは再委託先のシルバー人材センターの人員であるが、この人員に対する意識付けはどのように行っていくつもりか。3点目として、管理運営の経費縮減策として各地区体育館へFAXを導入するとあるが、PC等の他の手段は検討しないのか。最後1点はお願いになるが、給与規定について、残業が60時間を超えた場合は残業割り増し賃金率が50%となるが、御社の給与規定には記載されていないため、次回見直しの際にきちんと記載をしていただきたい。

応募者：1点目の人員体制のフォローについては、本社からの応援、入間市市民体育館を拠点とした体育施設職員によるバックアップのほか、県内他市の施設の職員によるバックアップを行う。バックアップの体制は十分に整っている。2点目の、シルバー人材センター人員への研修については、業務委託においては再委託先のシルバー人材センターの人員に対し直接の指導をすることが出来ないため、シルバー人材センターを通して業務に対する認識の

共有を行い、齟齬が出た場合には都度協議を行いたい。3点目については、地区体育館にはPC等の通信設備が整っておらず、連絡手段は現状電話のみである。配置される管理人は再委託先のシルバー人材センターの人員複数名となるため、書面で情報を共有することが望まれるが、高齢者の方はPCが得意な方ばかりでないため、今後はFAXを配置し情報伝達をスムーズに行いたい。また、今後についてはその都度最適な連絡手段を検討していきたい。

委員：入間市体育施設の指定管理者はアイル・オーエンスグループとなっており、地区体育施設の指定管理者として今回応募したアイル・コーポレーション株式会社とは構成団体が異なっているが、今回単独で応募した理由について伺いたい。また、御社が提案した収支計画書について、自主事業の収入以外の部分については市が示した指定管理料の金額と同額となっており、創意工夫によるコスト削減が収支計画上見られない。何か理由があるのか。

応募者：共同事業体ではなく単独で応募した理由としては、事業規模を鑑み単独で管理を行った方が費用削減や意思決定を迅速に行うことが可能と判断したためである。また、収支計画書について工夫が見られないという点については、事業規模が大きな理由として挙げられる。本社が配置できる社員の人数や再委託先のシルバー人材センターの人員の確保について、提示された金額の中ではなかなか難しいところがある。他市の施設では物販等を実施している例もあるが、こちらについても事業規模を鑑み今回は提案していない。市体育施設と連携し販売の創出等を今後検討していきたい。

委員：入間市スポーツ推進計画では、「週1回以上のスポーツ実施率（成人）60%以上」を目標としている。提案では5つの自主事業を提案いただいているが、目標の達成に向けてこれらの5つの事業をどのように展開していくのか、具体的なお考えをお聞かせいただきたい。また、2点目として先日パラスポーツのイベントを開催したが、障害者スポーツの推進に向けての視点についても、どのような形で取り入れていくのかについて併せてお聞きしたい。

応募者：事業計画に記載のイベントは各地区体育施設で順番に実施し、全ての地区で障害者を含むイベントを計画している。多様な人々に対応するイベントを行っていききたい。また、提案したスポーツ文化祭についてはボランティア団体をはじめとする多くの方々の活動の発表の場とし、販売の創出によるスポーツ人口の増加に努めていきたい。また、ユニバーサルスポーツ、ボッチャ、ペタンクや座ったままできるバレーボールのイベントを計画しており、子どもから高齢者、障害者の方まで幅広い方々が楽しめるものを考えている。家で

も楽しむことができ、世代間や家族間の交流に繋がるようなスポーツをイベントの中で発信していきたい。

委員：当市では地区センター化による地域の特色を活かしたまちづくりを行っている。地区の特性に応じた自主事業の実施について具体的な考えがあれば聞かせていただきたい。また2点目として、入間市地区体育施設等を4月から委託管理している上での課題感や、4年後の入間市体育施設との一体的な管理を見据えて、今後の施策展開があれば考えを聞かせていただきたい。

応募者：地区の特性に応じた自主事業については、入間市ではミニバスケットが盛んであると聞いている。プロのバスケットボール選手を招いてのイベントを行い、地域のニーズに合わせた事業展開を行うことで地域の活性化に努めていきたい。一体的な管理に係る構想だが、入間市体育施設と管理が一体となることで事業規模が大きくなることから、実施可能となる事業の幅は拡大していくことが見込まれる。また入間市体育施設との一体管理により拠点が増えることで、スポーツを提供する機会の創出が図られ、スケールメリットを活かした運用が行えると考えている。

委員長：総括的な質問として伺いますが、ここまで4月から入間市地区体育施設等の委託管理を行ってきた上での自己評価や課題があれば聞かせていただきたい。また、今回入間市地区体育施設等の指定管理者候補として応募した動機と意気込みを改めて聞かせていただきたい。

応募者：1点目の自己評価として、人の配置が大きな課題であった。人の定着に課題があったため、採用時に業務内容の説明をしっかりと行うことで離職を防いでいくこととしている。また、現在は県内他指定管理施設における管理運営経験者やマネジメント経験者を配置し、経験に基づいた統括管理ができるような体制となっている。2点目の課題として、前指定管理者からの業務引継ぎを円滑に進めることが出来ない部分もあったが、今後指定管理者として改善を図っていく。応募動機としては、現在当社では指定管理者として入間市体育施設、入間市農村環境改善センターの2施設の管理運営をしており、更なる拠点展開が可能となるという点で今回応募させていただいた。また、入間市地区体育施設等は入間市体育施設と性質が似ているため、一体管理による効率化を見越している。意気込みとしては、拠点を増やすことで入間市とも協力しながらネットワークを構築し、発展的なことを行っていきたい。また、スポーツ推進計画の各種施策を実現するために様々な拠点を設け、スポーツの機会の提供を行っていきたいと考えている。

委員：最後に確認させていただきたい。入間市地区体育施設等に配置される統括管理者は、入間市体育施設に配置されている統括管理者とは別に1名配置されるという認識で良いか。

応募者：認識の通りである。

事務局：以上で質疑応答を終了とさせていただきます。

## (2) 委員からの講評

委員長：応募資料および本日のプレゼンテーションを受け、各委員から意見、感想があればお願いしたい。なお、あくまでも採点は各委員の自己判断が大前提となるが、専門的な見地から述べておきたいことや、相互確認しておいたほうが良いことなどがあれば述べていただきたい。

委員：現在入間市体育施設の指定管理を行っているので大きな不安はないが、統括管理者が1名という点が少し気になる。統括管理者が不在の時間帯や曜日については、バックアップの体制が十分に整っているとの話はあったものの、一方で提案の中で災害時の適切な初動対応等についても謳っており、その辺りについて実際にどこまで迅速な対応を取ることが出来るのかという点については少し不安に感じた。また、現場の対応についてはシルバー人材センターへの業務委託となるため、指定管理者からの直接の指導ができないという点については承知しているが、接遇レベルを確保できる取組があればより市民の満足度も上がると思われる。

委員：同じく大きな問題はないと思われるが、提案内容としては可もなく不可もないといった印象である。他の応募者の提案があれば聞きたい気もするが、事業規模からすると特色を出すのが難しく仕方がないと思う部分はある。

委員：問題はないと思われるが、人の定着に課題があるという話は以前から聞いており、本日説明を聞いて改めてその点が課題であるということを認識した。来年は入間市宮寺地区体育館に改修工事が入るが、収支計画はどのようになるのか。入間市宮寺地区体育館については、他の地区体育館と異なり舞台が設置されている。工事期間中も舞台を活用できる方法を指定管理者には検討していただきたい。

スポーツ継継：指定管理料の修繕費については清算項目となる。担当課としても、工事期間中の舞台の活用については気になっていた点ではある。今後の事業展開に期待したい。

委員：先ほども話していた人の配置について、入間市体育施設においても人が定着せず、業務の引継ぎについても連携が上手く取れないといったことがあったため、最後にあのような質

間をさせていただいた。統括管理者については、入間市体育施設と入間市地区体育施設等においてそれぞれの施設で配置をしていただき、統括管理者を1人が両施設で兼ねることが無いようにしていただきたい。

委員：施設の維持管理については、現在入間市体育施設の管理を行っていることもありスケールメリットを生かした安定感に期待できる。ただ、他の委員からも話が出たように他の応募者からの提案も聞いた上で比較し審査できると良かったのではないかと考えている。

委員：4年後については入間市体育施設と一体となったスケールメリットを活かした管理運営が期待できる場所である。収支計画書からは入間市地区体育施設等単体では利益が見込めないという印象を受ける。アイル・コーポレーション株式会社は自社で修繕等が可能なため、経費面で強さがある。事業面ではミニバスケットボール等の具体的な提案があったことから期待したい。県内他施設との連携による事業展開について具体的な提案を聞きたかった。今後しっかりと事業展開していただければありがたい。

委員長：昨年度も複数施設の提案をいただいております、それぞれ評価している。自主事業等の提案については気を惹かれるような提案はなかった。人員配置についての不安の声もあるが、担当課でよく連携をしていただきたい。他に確認したい点等なければ、講評は以上とする。

### (3) 所管課からの意見・感想

当課としては、地区体育施設の設置趣旨を踏まえて、適切に管理運営を実施できる事業者を希望している。行政サイドや地区の運営委員との連携はもとより、創意工夫を凝らした事業展開をすることで、入間市地区体育施設等をさらに活性化させ、来館者を増やし、地域スポーツの発展を担っていただきたい。アイル・コーポレーション株式会社は体育施設の指定管理者として適切な実績があり、本日の提案ではこれまでの実績や、地区運営委員との連携を踏まえてこれまで以上に入間市地区体育施設等を活性化させようという姿勢は見えた。我々としても、地域のスポーツの振興の拠点として、安心安全な施設運営、地区運営委員との連携、地域の特性を生かした事業展開、スポーツを通じたあらゆる世代の方々の交流の場として、多くの市民、地区住民にとって、身近な施設になるような取り組みを改めて期待する。その点も踏まえて、委員の皆様には今回の候補者がふさわしいか厳正な審査をお願いしたい。

(4) その他

審査票の提出と次回の日程について

10月4日（金）までに審査票をデジタル行政推進課に提出していただきたい。次回の第4回の選定委員会を10月11日（金）9時30分から第3委員会室で開催する。

以上